

自然感

くすのき

yumi



季節感

爛漫の桜の下、静かにそれでいて華やかに群咲く…

『ヒメオドリコソウ』
(帰化植物)

平成21年4月3日
太宰府市四王寺山麓
大塚俊樹



熊洞居人独言

37

今年はサクラ(ソメイヨシノ)の開花が、3月13日と、以上に速い開花となりました。全国でも最速でした。福岡での開花の平年日は3月26日です。これは過去30年間の平均値です。また、満開になったのも3月23日と、平年値より11日速く満開を迎えました。しかし、本格的に散り始めたのは4月5日前後からで、2週間近くも満開の状態が続きました。これは過去に例のない異常現象で、クマもこのような状況は記憶になく大変驚いています。

サクラの花芽は夏に形成され、秋に入り落葉が始まるまでは休眠状態にあります。晩秋から冬に掛け寒さが深まると、休眠が打破され花芽の生成(成長)が始まります。やがて初春を迎え気温の上昇が始まると、花芽の生成はピークを迎え開花が始まります。サクラの開花に関するこの条件を前提にして、昨秋から今春までの気象状況を振り返ってみると、今年のサクラの開花状況が判ります。今年の冬は12月半ばから2月上旬までは寒い日が多く、2月下旬から3月中旬に掛けては暖かい日が続きました。しかし3月下旬から四月初めまでは比較的寒く、また、晴天の日が多くて花を散らせるような風雨の日は皆無でした。このような気象状況が、今年のサクラの早期開花と異常な満開の維持を決定づけたと思われる。

今年の福岡でのサクラの開花は、全国(九州以北)でも最速でしたが、どこのサクラを基準にしているかは皆さんご存じでしょうか。それは、大濠公園の南にある福岡管区気象台の敷地内に植えてあるソメイヨシノが基準となっています。このサクラで5輪の花が咲くと開花宣言がなされます。この木を基準木と呼びます。この他、福岡管区気象台構内での植物季節観測標本は次の植物です。ウメ、ツバキ、タンポポ、ノダフジ、ヤマツツジ、アジサイ、サルズベリ、ススキ、イチヨウ、イロハカエデ、スイセン。また、動物季節観測は気象台構内及び近隣で行われ、ヒバリ、ウグイス、アブラゼミ、ヒグラシ、モズの初鳴、モンシロチョウ、ツバメ、キアゲハ、トノサマガエル、シオカラトンボ、ホタルの初見が観測されています。

☆☆☆ こと座流星群 ☆☆☆

☆時期：4/16~25

☆ピーク：4/22 午後8時頃から
(4/23の午前1時~2時または明け方も)

一時間当たり10個ぐらいですが、22, 45, 82年には100個以上の観測記録あります、また火球クラスの大物の出現の可能性あり

こと座のベカ(織り姫)を目印にして下さい。

※※※事務局からのお知らせ※※※

この、NAIS福岡会報『自然感くすのき』は、NAIS福岡ホームページにも毎号掲載しています。

(<http://www.kurabird.com/> (自然案内舎(有)クラブドHP)のトップページ下方にある、「福岡県自然観察指導員連絡協議会」からお入り下さい。)

現在、この会報は、全会員に郵送しておりますが、もし、「ホームページの方で見るので、郵送分は必要が無い」という方がいらっしゃいましたら、事務局までお知らせ下さい(連絡先は、会報奥付をご覧ください)。順次対応させていただきます。

なお、この場合、郵送費用はホームページ維持費に充てますので、ご了承下さい。

※お願い 会報をホームページで見る環境をお持ちの会員は手をあげて下さい。経費節減のためです。宜しくお願いします。

3度目の正直と思い、「今回こそ・・・」と玄界灘に浮かぶ海上空港を夢見た人達がいる一方で今度も自然を守り抜くぞと意を決した人達がありました。

玄界灘をめぐる戦いといっても過言ではないでしょう。

ご存知の方も多いことと思いますが、玄界灘はその美しさゆえ、昭和31年に国定公園に指定されました。ところがそれが仇となり、バブル時代に「開発し残した場所が残っていた」とばかりに空港候補地として狙われることになりました。

日本に環境破壊を伴わない開発があるのでしょうか。

また諫早湾の例に見るようにたとえ司法が開門命令を下しても行政が従わない場合もあります。福岡の人工島問題では「環境アセスメントが非合理的であった」とされても、なお工事は進行しています。

これらの現状を見る限り、「一度海上空港案が通ってしまえば、後戻りはありえない」という切羽詰まった思いや焦りがありました。

故郷の三苦海岸に佇み、白砂青松や、遠浅の海底に砂と岩が描くエメラルドグリーンと藍色に輝く海を眺めました。耳を澄ませば潮騒や松風や虫の声。目を閉じれば磯の響と肌を滑る風。種々の命との出会い。

はたして地球は人間だけのものなのか。か弱い命を見殺しにするのか。国境などは人間が陣取り合戦をした結果であり、人間以外の生き物には無関係なことでしょう。しかし開発すれば、国境を超え生態系に多大な被害を与えることとなります。

海上空港の問題は、故郷の玄界灘を守りたいという思いとともに、地球の自然保護を考える機会を与えてくれました。

更に「玄界灘を守る会」と「三苦の海を守る会」の発足に至りました。

今後とも海岸清掃を通じて浜辺を守り、自然観察をしながら監視の目を継続してゆきます。



◆◆◆署名をしていただいた皆様へ◆◆◆

署名活動へのご協力のお礼と報告

2009年3月31日

「筑後・小郡簡保レクセンター跡地」の売却予定地に関しまして、三国丘陵の自然を楽しむ会の署名活動にご協力いただきありがとうございました。

1月下旬から2月28日までという大変短い署名記入期間でしたが、福岡県知事宛に2,437名様、小郡市長宛に2,422名様よりご署名をいただきました。署名の提出は、福岡県には、2月10日総務部財産活用課 小島英二課長、廣渡賢治係長、3月16日同・山口文雄副課長、廣渡係長、31日同・廣渡係長に、小郡市には2月9日に平安正知市長、兵頭正俊副市長、総務部中村企画課長、3月25日兵頭副市長、総務部中村企画課長に、行っております。短期間にこれだけの署名が集まりましたのは皆様のおかげです。

署名活動を始める前、小郡市の政策に係わる方々は「福岡県の土地なので、小郡市は何も言えない」といったものでしたが、3月になって、行動をとりにしてくださる方が出てまいりました。これはやはり皆様の署名の力と確信しております。

署名の提出に福岡県に出向いた折、総務部の言葉に跡地の活用は、「小郡市の上承が必要」といったニュアンスがかなりあることがわかりました。三国丘陵の自然を楽しむ会の代表は筑紫野市の住民でありますので、小郡市の決断を促すことがかなりやり辛くなってまいりましたので、新たに「グリーンベルトを守る小郡市民の会」(会長：三木幸雄 小郡市三沢)というものを立ち上げました。今後はこの会で、小郡市を中心に新たな署名用紙にて福岡県内で署名活動を行い、小郡市から福岡県へ「了承できない」ということを言うに、当会は積極的に支援していきたいと思っております。新しい署名用紙は、三国丘陵の自然を楽しむ会のブログでもダウンロードできるようにしております。皆様のご支援を今後ともどうぞよろしく願いいたします。まずはお礼と報告をさせていただきました。ありがとうございました。

三国丘陵の自然を楽しむ会 代表 松永紀代子
グリーンベルトを守る小郡市民の会 会長 三木 幸雄

日本野鳥の会福岡支部 主催

※参加費：100円（中学生以下無料）

4/19（日）5/17（日）
 天拝山探鳥会（筑紫野市）
 時間：9:00～12:00
 集合：天拝山歴史自然公園
 問合せ：092-920-7112（山本勝）

4/25（土）5/23（土）
 久末ダム探鳥会（福岡町）
 時間：8:00～11:00
 集合：久末ダム多目的広場横駐車場（管理事務所下）
 問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

5/3（日）
 今津探鳥会（福岡市西区）
 時間：9:00～12:00
 集合：玄洋高校西側道路
 問合せ：092-891-9005（神園道男）

5/9（土）
 大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
 時間：9:00～12:00
 集合：ボート乗り場前
 092-573-1827（森健児）

5/10（日）
 和白海岸探鳥会（福岡市東区）
 時間：9:00～12:00
 集合：JR 和白駅前公園
 問合せ：092-606-0012（山本廣子）

4/29（水・昭和の日）
 鴻巣山（福岡市中央・南区）
 時間：10:00～正午頃
 集合：中央区平尾霊園正面入口
 問合せ：092-592-3423（小野仁）

日本野鳥の会筑後支部 主催

※参加費：100円（中学生以下無料）

4/26（日）
 濃施山公園（みやま町）
 時間：9:00～
 集合：公園内すいせん橋
 0944-58-1672（野田）

**福岡植物友の会 主催**

4/19（日）
 四王寺山（大宰府）
 ザイフリボク、コバノガマズミ
 092-947-6536（大吉博子）

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

5/9（土）
 三国丘陵内
 場所はブログにてご確認ください。
 時間：9:30～12時30頃
 問合せ：092-920-3072（松永）
 要：保険料

三国丘陵 ですぐにヒット
 します。

**和白干潟を守る会 主催**

4/25（土）
 守る会定例会議
 時間：10:30～12:30
 集合：和白干潟を守る会事務所
 問合せ：092-606-0012（山本廣子）

4/25（土）
 クリーン作戦 と自然観察会
 時間：15:00～17:00
 集合：海の広場 駐車場なし
 長靴・軍手があると便利
 問合せ：092-661-1594（田辺スミ子）

**久留米の自然を守る会 主催**

詳細は0942-46-8622（古賀）

**福岡市油山自然観察の森 主催**

※往復ハガキでの申込方法はハガキに「行事名・行事実施日・住所・氏名・年齢・電話番号」を記入の上、自然観察センターまでお送り下さい。

4/19（日）
 春色の森・自然観察ハイキング
 春の花が咲きそろい、昆虫たちが動きだした森を散策します。

受付：9:30より
 時間：10:00～13:00
 対象：一般
 申込み：不要
 定員：なし



4/29、5/2～6
 春の森で里山の木の赤ちゃんを育てたり、草花遊びをして楽しみます。

受付：随時
 時間：10:00～15:00
 対象：一般
 申込み：不要
 定員：なし



問合せ：油山自然観察センター
 参加費：100円
 〒811-1355
 福岡市南区松原夫婦石 855-1
 TEL：092-871-2112
 開館 9:00～16:30（月曜休館）



※※※ NACS-J 全国大会レポート ※※※

～NACS-J 自然観察指導員養成30周年企画～ 第8回自然観察指導員全国大会「指導員の今までとこれからを考える」

2009年3月21日(土)・22日(日)の2日間 東京大学農学部弥生講堂一条ホールにて開催されたNACS-Jの全国大会に参加してきました。

21日の東京は晴天でしたが少し霞んでおり、関東の方でも黄砂の影響を受けているということでした。

本大会は、田畑理事長の挨拶から始まりましたが、そのあと事務局より30年の総括としてこれまでに425回の指導員養成講座が開催され、その内236回は55の自治体との共催が実現し、24,375名の自然観察指導員が誕生したこと。神奈川県が最多開催60回と最多の指導員1,845名を輩出し貢献したことや群馬県が最初に指導員連絡会を立ち上げた(1979年)ことや企業では富士ゼロックス(株)が、学校では兵庫県立淡路景観園芸学校が、最初の講習会を開催した等の報告がありました。

次に、最初の基調講演を行なう予定であった浜口哲一さんのご母堂様が昨日ご逝去され、今日は欠席されている旨のアナウンスがありました。しかし、浜口さんが原稿を用意してあったということで大分の足立さんが代読するかたちで基調講演1は進みました。別掲のプログラム通り休憩の後、林公義さんによる基調講演2があり、全国各地で活躍されている指導員を代表して4名の方々、国安俊夫さん(栃木県)・佐久間憲生さん(山形県)・佐藤仁志さん(島根県)・槐真史さん(神奈川県)と順次発表が進みコーディネーターの横山隆一さんのまとめで一日目を終え、19時～21時、農学部食堂での交流会がありました。

当日の講演内容他詳細については後日NACS-J事務局より取り纏めた報告書が作られると思いますが、大まかに言って1日目は「青柳昌宏」・「金田平」・「柴田敏隆」の3人の先生方によって指導員の養成が始められ、制度の基礎が形づけられていったことや指導員の身分を認定制度とするか、登録制とするかという議論が発足当初からあり、議論の末に現在の登録型になり発展してきたといった経緯の話などや自然観察会の手法など、これまでの自然観察指導員養成がめざしてきたことというタイトル通りの内容だったと思います。

2日目は、9時より飯塚忠志さん(群馬県)・つる詳子さん(熊本県)・平澤聡さん(新潟県)・中川芳江さん(兵庫県)の4名の方々の観察から更に進んだ「守る活動」の事例発表と午後からは「これからの自然観察指導員」というテーマでパネルディスカッションが行われました。予定通り15時に終了しました。

この2日間の大会を要約すると「指導員が地域で果たしていく役割、人と自然に関する教育活動の今後を考える」ということで、

- ①自然観察からはじまる自然保護
- ②自然観察を社会に浸透させてきた方法
- ③人づくり、繋がりを通して情報の共有化をしていく
- ④身の回りのプチ破壊に対してプチ自然保護が求められている

というような内容だったと思います。

閉会の挨拶のなかで杉村理事長が、青柳先生と同じ年と告白されていましたが、すごくお若くみえビックリしました。内容のすごく濃い大会に多少の交通費がかかったとはいえ無料で参加できたことに感謝しています。

福岡県自然観察指導員連絡協議会 末弘 祐一



～ 会場の様子 1 ～



～ 会場の様子 2 ～

※自然観察指導員の方々や子どもたちに関わる大人たちに、いま私が一番伝えたい想いです。※

子どもたちへの一番大切な贈りもの

ーレイチェル・カーソン著『センス・オブ・ワンダー』よりー

1. 子どもたちの世界は、いつも生き生きとして新鮮で美しく、驚きと感激に満ちあふれています。
生まれつきそなわっている子どものセンス・オブ・ワンダーをいつも新鮮に保ちつづけるためには、私たちが住んでいる世界のよろこび、感激、神秘等を子どもと一緒に再発見し、感動を分かち合ってくれる大人が、すくなくともひとりそばにいる必要があります。
2. 私は、子どもにとっても、どのようにして子どもを教育すべきか頭をなやませている親にとっても、「知る」ことは「感じる」ことの半分も重要ではないと信じています。
美しいものを美しいと感じる感覚、新しいものや未知なものにふれたときの感激、思いやり、憐れみ、賛嘆や愛情などのさまざまな形の感情がひとたびよびさまされると、次はその対象となるものについてもっとよく知りたいと思うようになります。
子どもに知識を教えこむよりも、子どもが知りたがるような道を切り開いてやることの方が、どれほど大切であるかわかりません。
3. いろいろな木の芽や花のつぼみ、咲きほこる花、それから小さな小さな生きものたちを拡大鏡で観ると、思いがけない美しさや複雑なつくりを発見できます。それを観ていると、いつしか私たちは、人間サイズの尺度の枠から解き放たれていくのです。
4. 地球の美しさや神秘を感じとれる人は、科学者であろうとなかろうと、人生に飽きて疲れたり、孤独にさいなまされることは決してないでしょう。たとえ生活のなかで苦しみや心配ごとにてあったとしても、必ずや、内面的な満足感と、生きていることへの新たなよろこびへ通ずる小道を見つけだすことができると信じます。
地球の美しさについて深く思いをめぐらせる人は、生命の終わりの瞬間まで、生き生きとした精神力を保ちつづけることができるでしょう。
5. スウェーデンのすぐれた海洋学者であるオットー・ペテルソンは、地球上の景色をもうそんなに長くは楽しめないと悟ったとき、息子にこう語りました。「死に臨んだとき、私の最後の瞬間を支えてくれるものは、この先に何かがあるのかという限りない好奇心だろうね」と。

◆◆◆会員の末広裕一さんからの案内です◆◆◆

プロジェクトWETエディケーター&PLTファシリテーター養成講習会

PLT (Project Learning Tree=木を通じた環境教育プログラム)とは、教師と子どもたちに木の世界一詩と歌の世界、豊潤と再生の世界、自然と文化の世界への第一歩を提供すると同時に人間が命あるものとならないものからなる世界と調和して生きていくために必要な意識と知識と能力を身につけることを目的としています。

【北九州会場】

日時：平成21年4月25日(土)～26日(日)

場所：北九州市立もじ少年自然の家

【山口会場】

日時：平成21年5月16日(土)～17日(日)

場所：国立山口徳地青少年の家

◎受付 9:30 解散 翌日 17:00(各回共通)

※1日のみの受講も可能です

対象：18歳以上の体験学習の実践に意欲のある方

参加費：21000円(学生20000円)

※テキスト代・傷害保険・食費・宿泊費・登録認定料含む

定員：24名(先着順)

申込締切：各回2週間前まで

持ち物：筆記用具、雨具、(保険証コピー可)、マイカップ、名札(形式自由)

お問い合わせ・お申し込み先

〒800-0251 北九州市小倉南区葛原3-7-1

PWTラボラトリー 担当：末弘

TEL & FAX 093-383-5861

携帯 090-3328-2634

お申し込み方法

- ①お名前(ふりがな)
- ②住所
- ③連絡先(携帯、固定、fax)
- ④性別
- ⑤年齢
- ⑥所属
- ⑦希望会場

※個人情報保護法に基づきお預かりした個人情報は本会の運営及び連絡のみに使用します。

※保険手続きに必要ですので洩れなくご記入ください。

※当日は、お名前・所属のみを記載した参加者名簿を作成します。

※本会の写真等は、報告書等で使用することがあります。ご了承の上お申し込みください。

☆☆☆これは何だろう!?☆☆☆



前回(164号)の解答

タブノキハウラウスフシ(タブノキ葉裏白附子)でした。

タブノキやホソバタブにつく虫こぶ(ゴール)で、

タブウスフシタマバエの卵が入っています。

5月には成虫に羽化するようです。

参考図書：虫こぶハンドブック(文一総合出版)

これは何だか解かりますか?

【ヒント】自然界の迷彩服?!

どんなメリットがあるんだろう。

2009年3月
私のデジカメ日誌より
本のむし

3月23日
九重指山山頂(1449m)
ヒオドシチョウを観る。
左の上翅は擦り切れて裂けていた。



3月30日
唐津市神集島
砂浜に打ち上げられた
ウミガメの死体を観る。
アカウミガメだろうか？。



3月30日
唐津市神集島
浜風にガガイモの10cmの袋果から
種子が旅立つのを見る。



☆☆☆お知らせ☆☆☆

◎定例総会、どうする？

6月の定例総会をどこでどうするか、日程はいつでもおり6月の下旬、場所は筑紫野市の竜岩、二丈町、能古島などの案がでています。福津の砂浜、福岡海浜公園で漂着物の観察に関して研修するなどの案も浮上っています。

事務局としては、4月下旬までに決定し、くすのき5月号でお知らせしたいと思います。



◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆ インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。

ナイス福岡のアドレスはこのページの一番下に表示しています。

◆◆◆会費振込について◆◆◆

それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。

郵便振替口座：福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783

年会費：2000円

◆◆◆皆に知らせたいことはありませんか？◆◆◆

皆さんが行っている観察会やイベントの案内、自然保護に関する情報やご意見、お薦めの本の紹介などをお寄せ下さい。原稿は定例会の一週間前までに事務局にお送り頂くとその月の会報に載せることができます。

皆さん情報をお待ちしています。

◆◆◆定例会に参加してみませんか？◆◆◆

本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として

毎月第2金曜の18:00～20:00ごろまで

自然案内舎(クラバード)にて行っています。

会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのおこしを心よりお待ちしております！

次回の定例会は、連休後の2009年5月12日(火)午後6時より事務局で行います。5月号の原稿は、5/1(金)までに届くようにお願いします。

なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

※お願い 会報をホームページで見る環境をお持ちの会員は手をあげて下さい。経費節減のためです。
宜しく願います。

◆◆◆他団体の会報の紹介◆◆◆

- ・日本野鳥の会筑後支部 会報まめわり 第96号 09. 4. 01
- ・福岡植物友の会 会報 第50巻 平成21年 3月号4月号
- ・自然観察指導員熊本県連絡会 会報自然観察 第127号 09. 3. 27
- ・NPO法人自然観察指導員埼玉 会報あらかわ通信 NO. 151 2009年4月1日
- ・福岡県青少年アンビシャス運動推進室 アンビシャス通信vol. 45 2009 Spring



お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会
(NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)
代表：冷川昌彦／事務局長：小野 仁／
編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子・吉田素子／会計：宮原俊彦
〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号
ハイツ中村401
自然案内舎(クラバード)内 TEL & FAX : 092-400-1765
URL : <http://www.kurabird.com/>
掲示板 URL : <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

編集後記

2009年3/13定例発送会は、山本勝・藤川渡・鶴田義明・田村耕作が参加。大塚俊樹からは欠席の連絡。MY氏から黒糖ドーナツの差し入れ有り。
田字草

